第16回（平成19年度）国土交通大臣賞　〈いきいき下水道賞〉

下水道普及啓発活動部門

つながる、ひろがる、メダカの輪

武生めだか連絡会、福井県越前市

「武生めだか連絡会」結成

子どもたちが絵を描いた下水管を埋設

マンホールの図柄にもなった
キャラクター「みずまる」

ビオトープでの生き物観察会

全国めだかシンポジウム

「武生めだか連絡会」は「メダカを育む武生の下水道」というキャッチフレーズのもと、メダカ愛好家、学識研究者、企業、行政のネットワークにより結成され、浄化センター内に処理水を利用してつくったビオトープを中心に活動を始めました。これまで、行政と協働する中で、メダカのキャラクターの開発、ビオトープでの「生き物観察会」や水質調査などの「夏休み宿題大作戦」を開催するなど、市民が浄化センターを水環境学習のフィールドとして活用できる取り組みや、身近な親しみやすい施設としてのイメージアップ作戦にも取り組んできました。また、メダカを通して水環境を考える連絡会の活動は、他の市民団体との共催イベントや「全国めだかシンポジウム」の開催など県内外に広がり、活動の場は飛躍しています。これらの行政との継続的な活動は、市民の水循環や下水道への理解につながるとともに、市民と行政のさらなる連携へと発展しています。